

3. 調査・研究事業

平成29(2017)年度、令和2(2020)年度、令和3(2021)年度のスポーツ庁委託事業に応募・採択され、成果報告書を提出しました。(報告書の内容はweb上でもご覧いただけます。)

<p>2017年度</p> <p>『スポーツ界のコンプライアンス強化事業におけるコンプライアンスに関する現況評価』</p> <p>事業成果報告書 (スポーツ庁HP, 500KB, pdf)  巻末資料 (当機構HP, 7.6MB, pdf) </p>	<p>2020年度</p> <p>『スポーツ・インテグリティ推進事業におけるスポーツ団体のガバナンス強化の推進』</p> <p>事業成果報告書 (スポーツ庁HP, 6MB, pdf)  「スポーツ・インテグリティ基礎研修会」報告書(当機構HP) </p>	<p>2021年度</p> <p>『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業)』</p> <p>事業成果報告書 (スポーツ庁HP) </p>
--	---	--

2022年 事業実施計画

1) スポーツ庁委託事業

令和4年度『障害者スポーツ推進プロジェクト(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備業)』に採択されました。障害者スポーツ教室(8月21日(日)長野県東御市)、教員向けの研修(8月24日(水)同市)を実施いたしました。

2) 日本財団助成事業

2022年度日本財団助成事業『VRを活用したスポーツ・コンプライアンス教育の普及』に採択されました。生徒の皆さんが、他者を尊重し、共感し合うよう行動を変容することを目指し、学校の運動部活動等で多発している児童生徒への体罰、ハラスメントなどのスポーツ・コンプライアンス違反行動を減らし、予防するためのコンテンツを、東京大学教育学部附属中等教育学校の協力を得て、開発中です。

3) スポーツ団体、自治体等での教育・啓発活動

- 8月11日(木)熊本県バスケットボール協会(於:熊本県) / 集合型で実施済み。
- 8月27日(土)高校生・大学生のための健康スポーツセミナー ~スポーツの価値を守り育む~ (於:福岡大学) / コロナ禍のため集合型の開催を中止して、動画配信形式で実施。
- 10月1日(土)日本ドッジボール協会指導委員会「(一財)日本ドッジボール協会公認指導員更新講習会」 / オンラインで開催済み済み。
- 12月2日(金)YKKグループ労働組合「実業団(クラブ)向けコンプライアンス教育」(オンライン)
- 12月10日(土)和歌山県体育協会「令和4年度第2回和歌山県スポーツ指導者研修会」(オンライン)
- 2023年2月9日(木)長野市スポーツ協会「令和4年度インテグリティ研修会」(於:長野県)

4) スポーツ・コンプライアンス・オフィサー養成事業

- 第4回スポーツ・コンプライアンス・オフィサー(SCO)事例検討会(於:学士会館) 11月19日(土)学士会館にて開催しました。特別講師には、日本サッカー協会審判部、審判委員長の扇谷健司様をお招きし、他にも当機構理事による講演、SCOによる活動報告が行われました。(参加者20名)
- 第5回スポーツ・コンプライアンス・オフィサー(SCO)養成講習会(於:学士会館) 2023年2月18日(土)・19日(日)学士会館にて開催いたします。講義(7コマ)・グループワーク・総合質疑等を行った後、認定試験を実施し、認定者には修了証及び合格証が授与されます。詳細は、ホームページをご確認ください。

賛助会員・支援会員・寄付募集中

当機構では賛助会員・支援会員・寄付を随時募集しております。ご関心のある方は、事務局までお問合せください。

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構

www.spo-com.org

〒105-0003 東京都港区西新橋1-24-16 平和ビル7F

Tel : 03-5521-2205 / Fax : 03-3581-2210 / E-mail : info@spo-com.org

事務局 千明(ちぎら)次長 / 加賀原事務局員 / 鈴木教育・研修部長

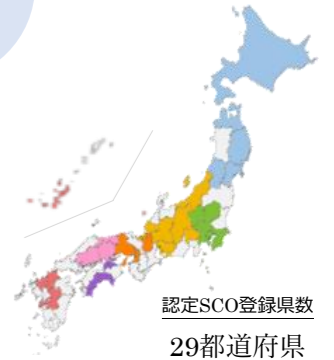
2022年12月7日版

スポーツ・コンプライアンス教育振興機構



Organization for Promotion and Education of Sports Compliance

ルールとフェアプレイ精神を守り、
スポーツを愛する人々とスポーツの価値を守り育む



認定SCO登録県数
29都道府県
(計132名)

目的

スポーツ界のコンプライアンスの強化を図るため、コンプライアンス教育の充実を図り、より健全なスポーツの普及・振興に資する

事業内容

- 教育・啓発事業
- スポーツ・コンプライアンス・オフィサーの育成事業
- 調査・研究事業
- 相談事業
- 評価・認証事業
- 普及事業
- 当機構の目的に合致した事業・活動



※「お互いに握手し合う姿」「ルールとフェアプレイ精神を守ることが真のスポーツの勝利(Victory)に結びつくこと」「競争し合う一方、共に生き共に栄えること」を表現している。

デザイン: PAOS (中西元男代表)

※登録商標

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構

代表理事	武藤 芳照	東京大学名誉教授/東京健康リハビリテーション総合研究所 所長
副代表理事/事務局長	櫻井 康史	晴海パートナーズ法律事務所 弁護士
副代表理事	増島 みどり	スポーツライター/株式会社The Stadium 取締役
業務執行理事	工藤 保子	大東文化大学スポーツ・健康科学部 准教授
業務執行理事	吉田 真由美	株式会社ノーザンホースパーク 顧問
理事	有森 裕子	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事長/オリンピック銀メダリスト
理事	泉 正文	公益財団法人日本スポーツ協会 副会長
理事	高橋 秀文	公益財団法人日本パラスポーツ協会 副会長 日本パラリンピック委員会副委員長
理事	竹村 瑞穂	日本福祉大学スポーツ科学部准教授/日本車いすバスケットボール連盟コンプライアンス委員
理事	谷 真海	サントリーホールディングス株式会社CSR推進部所属/女子陸上パラリンピック選手
理事	中森 邦男	一般社団法人日本パラ水泳連盟 事務局長
理事	永岡 真理	株式会社マルハン/電動車椅子サッカー日本代表
理事	春名 真仁	JOCナショナルチームコーチ/日本代表ゴールキーパーコーチ/元アイスホッケー日本代表
監事	櫻井 誠一	一般社団法人日本パラ水泳連盟 参与
監事	望月 浩一郎	パークス(PAX)法律事務所 弁護士

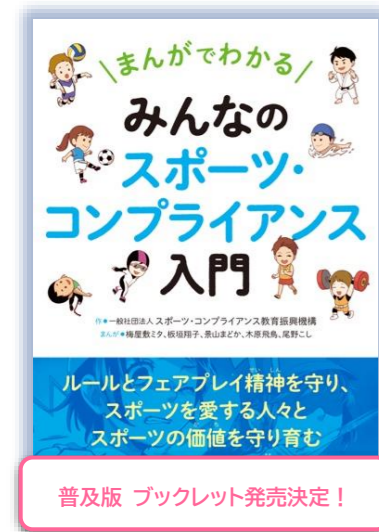
*理事13名中7名が女性 (54%)

1. 教育・啓発活動

1) 教育

『まんがでわかる みんなのスポーツ・コンプライアンス入門』

「スポーツ・コンプライアンス」を、わかりやすく面白く学べるように、「まんがでわかる」手法を用い、実際起きた事例を素材にして解説しています。難しい漢字にはルビをふっています。 ※ご注文は、当機構事務局まで



- 全80ページ
- カラーA5判
- 価格:1400円+税
- 2022年9月発刊

「はじめに」より
 ・・スポーツの価値と力を保ち高め、人が長い歴史の中で築き上げた大切な文化であるスポーツをさらに発展させ、一人ひとりが健やかで実りある人生を過ごせるようにとの願いが、この本には込められているのです・・

「日本高等学校野球連盟」「日本プロサッカーリーグ」「日本水泳連盟」「少林寺拳法連盟」「日本財団パラリンピックサポートセンター」「日本身体障害者スポーツ協会」「地方競馬全国協会」「日本ラグビーフットボール協会」「日本セーリング連盟」「(株)エッチアールデイ」「日本パラ水泳連盟」及び「スポーツ医」「公共図書館」や「学校図書館」などから、多くのご注文をいただき、研修・学習に活用していただいています。
 初版よりもお求めやすくなった普及版を、是非ご利用ください！！

- もくじ
1. スポーツ・コンプライアンスって何？
 2. スポーツの価値と力とは？
 3. スポーツ界のひずみ
 - ①体罰、暴力、暴言
 - ②ハラスメント
 - ③ドーピング
 - ④パラ・ドーピング
 - ⑤八百長、不正行為、危険な行為
 - ⑥犯罪・違法行為
 4. スポーツ界のひずみをなくすために -予防に勝る治療はない-
 5. スポーツの価値と力を守り、信頼を高めるために 【巻末資料】 ①用語解説 ②相談窓口一覧



2) 教育

過去の実績

- 2018年度**
- ・兵庫県体育協会加盟団体会長・理事長会
 - ・茨城県教育委員会運動部活動指導者研修会
 - ・日本競輪選手会特別指導訓練 (計10回)
 - ・地方競馬全国協会現地研修会 (計14カ所)
 - ・アジアパラリンピック競泳強化合宿
 - ・全日本学生野球連盟 監督会
 - ・東京六大学野球連盟 指導者研修会



(東京都渋谷区)

- ・パナソニック・インパルス指導者研修会
- ・都道府県高野連理事長・専務理事会議

- 2019年度**
- ・第1回JOC-NFインテグリティ教育推進チーム会議
 - ・(株)学研教育みらい
 - ・日本ラグビーフットボール協会
 - ・日本セーリング連盟 (計2回)
 - ・広島県体育協会
 - ・岩手県体育協会



(岩手県盛岡市)

- ・東京都文京区水泳連盟
- ・日本福祉大学硬式野球部
- ・東日本学生拳法連盟

2022年度

- ・熊本県バスケットボール協会
- ・長野市スポーツ協会
- ・日本ドッジボール協会

2020年度

- ・長野市スポーツ協会



(長野市)

- ・全日本大学野球連盟
- ・日本身体障がい者水泳連盟
- ・熊本県バスケットボール協会
- ・京都産業大学

2021年度

- ・神奈川クラブジュニアユースサッカー連盟
- ・日本騎手クラブ
- ・日本モーターボート競走会
- ・京都府教育委員会
- ・宮城県アイスホッケー連盟

2. スポーツ・コンプライアンス・オフィサーの育成事業

スポーツ界のコンプライアンスの徹底を図り、スポーツの価値と力を守り育むための教育・啓発活動を担う専門的人材を養成することを目的とした「スポーツ・コンプライアンス・オフィサー(SCO)養成講習会」「認定スポーツ・コンプライアンス・オフィサー(SCO)事例検討会」を、2018年度より開催しています。

< 養成講習会 >



< 事例検討会 >



www.athlete-societas.com

スポーツ・コンプライアンス・オフィサーの活動状況については、編集工房ソシエタスのホームページ内Athlete-Societas「スポーツ・コンプライアンス教育の充実に向けて」で紹介されています。